

タンク設置工事における外部からの情報提供について

平成27年2月5日

東京電力株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所



東京電力

項目

1. 情報提供の内容
2. 作業用コンテナ（巡回梯子）の作業
 - 2-1. 巡回梯子の現場状況
 - 2-2. 巡回梯子の養生、監視員配置状況等
3. タンクエリアのトイレの使用環境
 - 3-1. Jエリア仮設トイレの設置状況
4. 今後の対応

1. 福島県への情報提供内容

福島第一原子力発電所で新設のタンク設置工事に従事しているが、鋼材落下による人身事故に対する再発防止対策自体は実施しているものの、溶接作業においては事故以降も作業上の安全確保が十分になされていない。

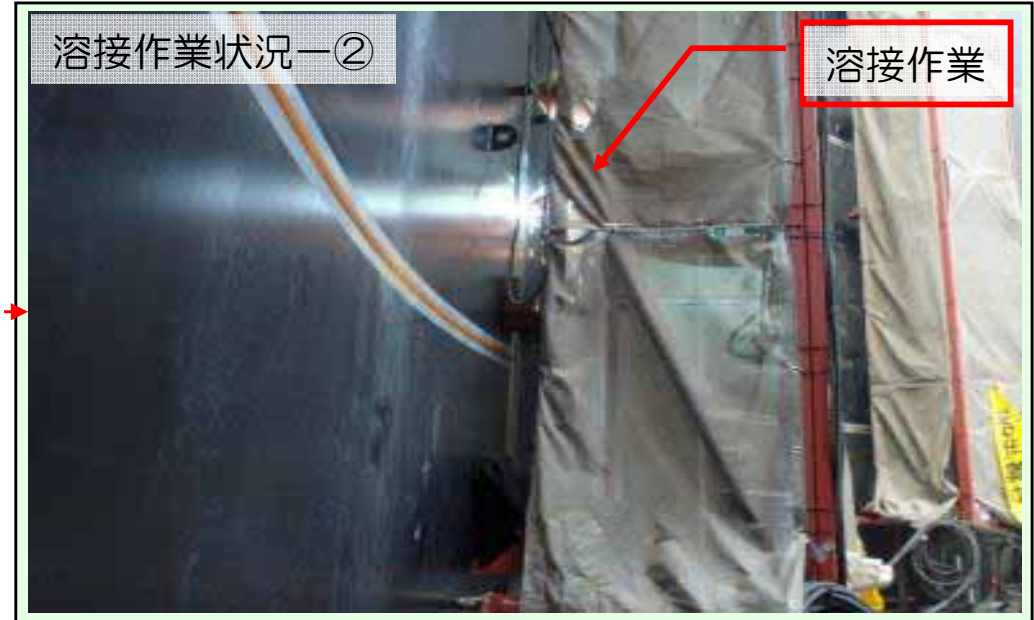
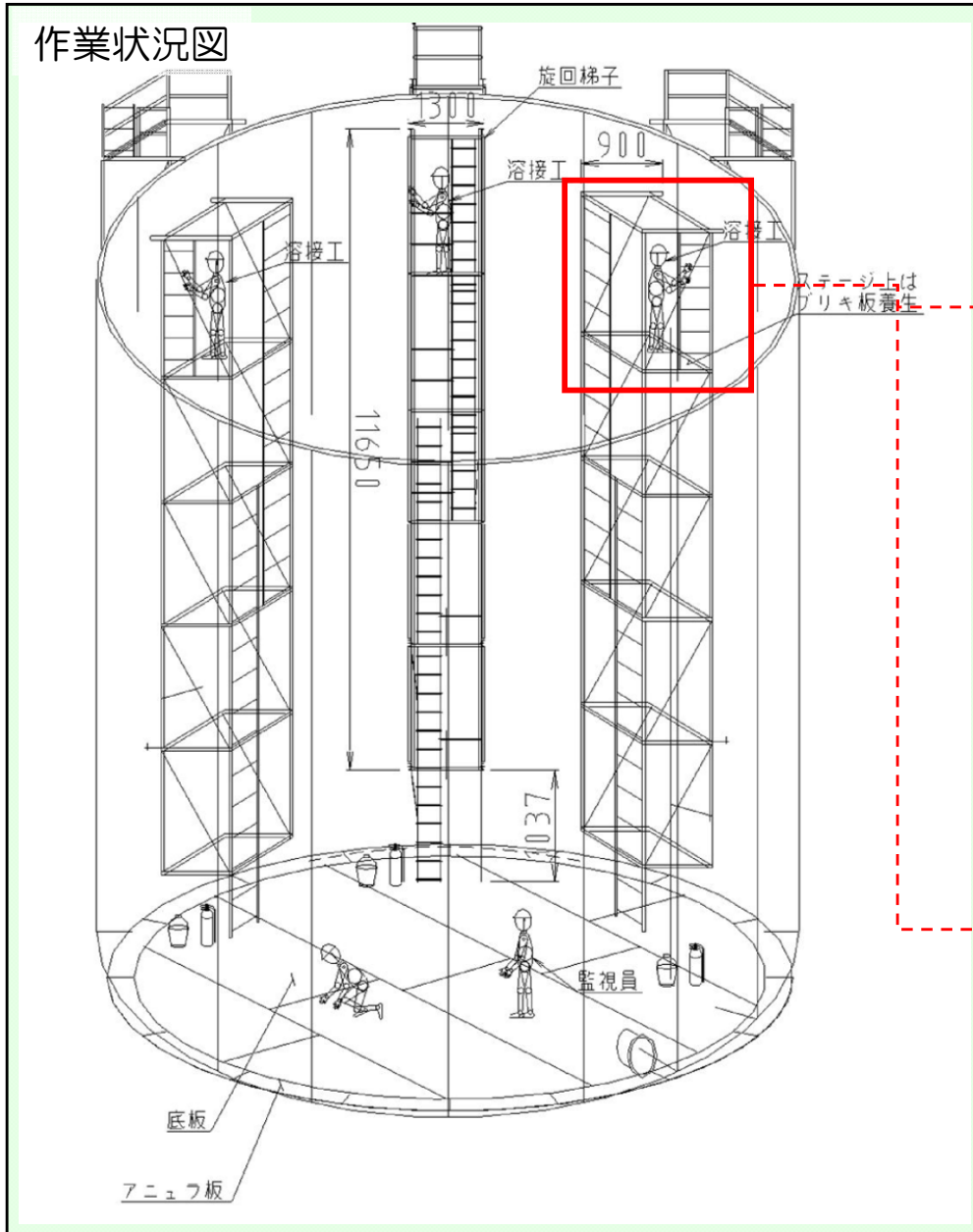
作業責任者に進言しているが、聞き入れてもらえない。改善されていない作業環境の例として、次のような事がある。

- 1 タンクの縦の溶接を上下に分担して作業を行っており、上部の作業用のコンテナから何か物が落ちた場合に、下の人に当たる可能性があり、危険である。
- 2 一度作業に入ると、なかなか休憩を取らせてもらえない雰囲気ではない。1回トイレに行くのに1時間くらいかかってしまう。トイレに行くのを我慢しながら作業をしている。

2. 作業用コンテナ（旋回梯子）の作業状況

- タンクの縦の溶接を上下に分担して作業を行う際には、旋回梯子（次頁参照）を用いて作業を行っている。
- 旋回梯子内は、鉄板で各ステージが区画されており、その周辺を幌等で覆うことにより、下段の作業員に工具や火花が落ちないように配慮している。
- また、タンク縦溶接部と旋回梯子との間には、30cm程度の隙間があり、隙間を通じて下段の作業員に工具や火花が落ちないように、邪魔板及び養生により隙間を埋める配慮を行っている。
- なお、高所作業車を含め、旋回梯子周辺の上部作業エリアについては、区画及び監視員を配置することにより、安全対策の向上に努めている。
- これらの作業状況について、東京電力として日々の工事監理のなかで対策実施状況を確認している。

2-1. 旋回梯子の現場状況



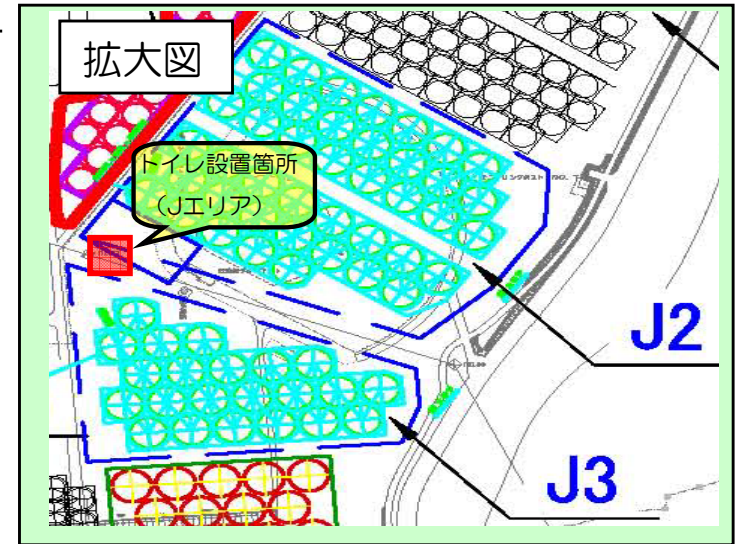
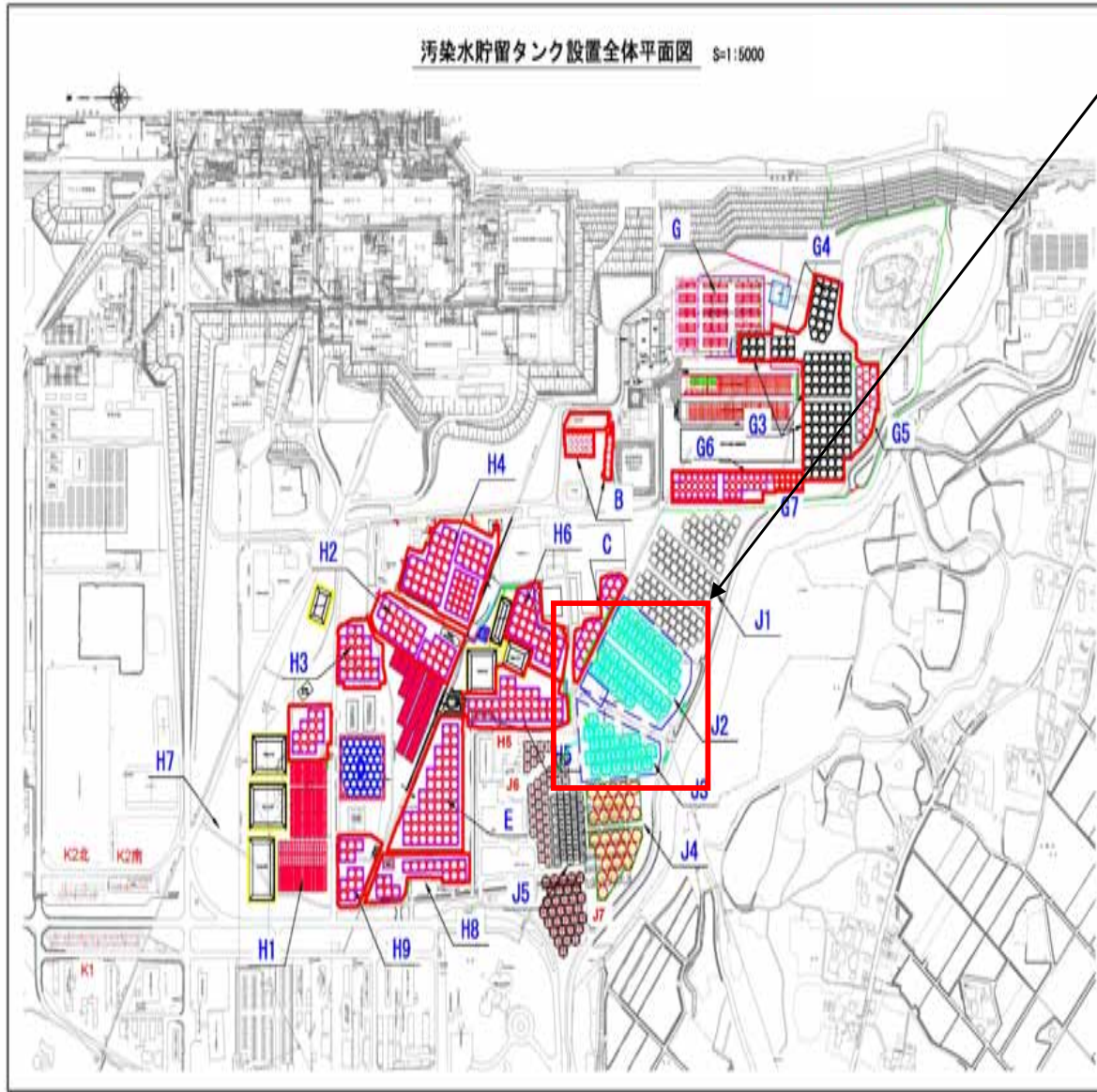
2-2. 旋回梯子の養生、監視員の配置状況等



3. タンクエリアのトイレ使用環境

- トイレはタンク建設エリアから徒歩5分程度の位置に仮設トイレが設置されているとともに、その先にはさらに徒歩2分程度の位置に入退域管理棟があり、現場の状況としては比較的トイレ休憩をしやすい環境下にあると考えている。
- 更なる利便性能向上から、タンク建設エリアにさらに仮設トイレを設置し、運用を開始しているところ。（次頁参照）
- なお、発電所構内の休憩所およびトイレ（移動式トイレ含む）の数は、現在、休憩所で約20箇所、トイレの数としては約150台設置をしており、それら設置場所については、各企業も閲覧できるイントラネットに掲示して周知している。

3-1. Jエリア仮設トイレ設置状況



設置状況



設置状況



仮設トイレ(脱衣場)写真



トイレ内写真



4. 今後の対応

- この度、旋回梯子内で行う溶接関連作業及び検査作業に係わる作業監督者に対して、作業員からの作業に対する不安等の訴え、トイレ利用に関する不平・不満について、元請け企業を通じて確認しましたが、そのような事実は確認されませんでした。今後も、現場の声に対して迅速に対応していきたく考えております。
- 旋回梯子内の作業に対して、引き続き紐付け等の落下防止対策を徹底するとともに、梯子内各ステージから、容易に機材及び火の粉が落下しないように邪魔板等を取り付ける対策を徹底し、更なる安全性の向上に努めてまいります。
- 今後、追加の仮設トイレの設置要望があれば、トイレの設置要望場所を確認し、設置の検討を進めてまいります。引き続き、現場の声に対して迅速に対応するよう努めてまいります。